

競走部員としての大学生活

私は現在、早稲田大学に在籍し、体育会競走部で活動しています。そこで箱根駅伝出走のために日々練習を重ねています。競走部は様々な地方から選手が来ており、地方の OB さんと会食する機会があるため地元の話はとても盛り上がります。私は小豆島出身であるため、たくさんの方が興味をもってくれます。小豆島と聞いてほとんどの方は「オリーブ」が出てきます。また、一部の方、特に大人の方々は「二十四の瞳」を知っている人が多く、その内容について会話したりします。皆さんも「二十四の瞳」は香川を代表する文学作品なので一度読んでみてはいかがでしょうか。

競走部では合宿で様々な場所に行きます。春には鹿児島の日置市や千葉県鴨川市。夏は菅平高原や妙高高原、熊本の水上村、岩手県奥州市などで合宿を行っています。合宿は普段よりもキツイ練習ですが、その地方のおいしい料理や温泉、練習がない時に観光地に行ったりして楽しみながら練習しています。特に奥州合宿の際に行った中尊寺では、荘厳な雰囲気、心が洗われて気持ちを新たに練習することができました。また、先日は合宿で長野県の菅平高原に行きました。9月の菅平高原は朝の気温は10度前後で日中の気温も20度程なのでとても過ごしやすく走るには最適な気候でした。また、クロスカントリーコースなど、走る環境も整っているため充実した練習ができました。

今年は新型コロナウイルスの影響で様々なことが制限されて、イベントや大会が中止になり、異常ともいえる社会情勢の中で大会や合宿を行えるように手配、準備して下さっている裏方の方々の支えで私たちの競技が成り立っていると強く感じました。それは、部活だけでなく全てのことでも言えることだと思います。特にコロナの影響で世界中の企業が苦勞している中で奨学金による支援を継続して下さっている株式会社タダノ様には本当に感謝しています。そのご支援に応えるために学業、部活動ともに精進していきたいと思ひます。